

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 10歳未満	若年性関節リウマチ (なし)	2mg 56日間	タクロリムス脳症 投与約9カ月前 投与278日前 投与265日前 投与257日前 不明 投与35日前 投与26日前 投与開始日 投与2日目 投与33日目 投与41日目 投与56日目 (投与中止日) 中止1日後 中止2日後 中止3日後 中止4日後 中止6日後 中止12日後 中止17日後 中止30日後 中止31日後 中止48日後	高熱が持続するため近医入院。 白血球上昇, CRP上昇の持続により, 若年性関節リウマチ(全身型)と診断。 若年性関節リウマチに対して, プレドニゾン(PSL)19mg投与開始。解熱傾向を認めた。 PSL減量後, 発熱, 全身紅斑, 肝機能障害発現したため, 入院。 骨髓検査にて, 血球貪食像が認められ血球貪食症候群の合併診断。 PSLとシクロスポリンA(CyA)併用療法で軽快したため, 退院。 投与約2カ月前よりCyA減量したところ, 若年性関節リウマチ(全身型)再燃し, 入院。 PSL+CyA持続+メトトレキサート2.5mg/週で治療開始。 弛張熱が持続し, m-PSLパルス療法施行, CyA中止, 本剤2mg投与開始。 本剤血中濃度16.1ng/mL。 症状軽快し, 退院。 本剤血中濃度6.3ng/mL。 意識消失・チアノーゼ発現。入院。 入院5分後に, 四肢の間代性けいれん発現し, ジアゼパム投与。 入院20分後に, 四肢の間代性けいれん発現し, ジアゼパム投与。 ミダゾラム持続点滴及び濃グリセリン・果糖配合製剤3回投与開始。 本剤中止。 意識クリアとなり, 濃グリセリン・果糖配合製剤中止。 頭部MRI拡散強調像にて後頭葉に高輝度領域を認めタクロリムス脳症と診断。眼が見えていないことに気づく(皮質盲と診断)。 不穏状態になる。 カルバマゼピン開始。 不穏状態なくなる。ミダゾラム中止。 光は見えるようになった。 少しずつ見えるようになってくる。 発疹出現し, 全身に広がる。(カルバマゼピンの薬疹の可能性あり) カルバマゼピン中止。バルプロ酸ナトリウム開始。 症状軽快し, 退院。タクロリムス脳症は軽快。 その後PSLを徐々に減量。
併用薬:プレドニゾン, メトトレキサート, ファモチジン, アルファカルシドール, フルコナゾール, スルファメトキサゾール・トリメプリム					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 40代	移植片対宿主病の予防 (急性リンパ性白血病, 移植片対宿主病)	0.2mg 静脈内点滴 69日間 ↓ 10mg 経口 73日間	白質脳症 投与約11ヵ月前 投与7日前 投与開始日 投与2日目 投与3日目 投与約1ヵ月後 投与53日目 投与70日目 投与87日目 不明 投与101日目 投与128日目 投与139日目 投与140日目 投与141日目 投与142日目 (投与中止日) 中止5日後 中止9日後 不明 中止13日後 中止18日後	急性リンパ性白血病発症。 骨髄移植の前処置として全身放射線照射療法(12Gy, 投与7日前～投与5日前)実施。 骨髄移植後の移植片対宿主病予防のため, 本剤0.2mg(静脈内点滴)投与開始。 骨髄移植施行。 本剤血中濃度12.7ng/mL。 移植片対宿主病発現。 移植片対宿主病に対し, ミコフェノール酸モフェチル1500mg投与開始。 本剤を10mg(経口)に変更。 血栓性微小血管症発現。本剤血中濃度13.2ng/mL。 アスペルギルス症発現。 アスペルギルス症治療のためアムホテリシンB投与(投与101日目～中止8日後)。 血圧上昇(160mmHg), 頭痛出現。 頭痛が徐々にひどくなり, 精査希望される。本剤血中濃度8.5ng/mL。 移植片対宿主病に対し, プレドニゾロン10mg投与開始。 MRI施行。白質脳症と診断。 本剤投与中止。本剤血中濃度9.6ng/mL。本剤血中濃度を徐々に下げる。 本剤血中濃度3.5ng/mL。 本剤血中濃度は検出下限未満となる。 頭痛は改善。 MRI上, 頭頂の脱髄又は局所浮腫は改善。ミコフェノール酸モフェチル, プレドニゾロンは投与中止。 白質脳症は回復。血栓性微小血管症は軽快。アスペルギルス症は軽快。
併用薬: ミコフェノール酸モフェチル, ウルソデオキシコール酸, プレドニゾロン, テプレノン, スルファメトキサゾール・トリメトプリム, ニフェジピン, 肝臓エキス・フラビンアデニンジヌクレオチド, スクラルファート, ポビドンヨード, ファモチジン, レボフロキサシン水和物, ヒドロコルチゾン, 塩化ナトリウム, ジアゼパム, ランソプラゾール, ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム, プロチゾラム, バンコマイシン塩酸塩, グリチルリチン・グリシン・システイン					